

平成 2 4 年 度 第 2 学 年 技 術 科 シ ラ バ ス

月	章・単元	学 習 内 容	時 間	達 成 目 標	主な評価方法	観点 ①	観点 ②	観点 ③	観点 ④
4	1 生活 とものづ くりの技 術	1 生活とものづくりの 技術 ①生活を支える技術につ いて考えよう ②くふうすることのすば らしさを知ろう	2 (1) (1)	技術の発達がどのように生活を充 実させ、産業を発達させてきたかを 調べ、技術の役割を考える。 くふうすることで技術が進歩して いることを知り、技術的課題を解決 するとき、くふうすることの大切さ について考える。	ノート プリント	○ ○			○ ○
5	2 材料 の特徴と 加工方法	2 材料の特徴と加工方 法 ①材料の特徴を調べよう ②材料の特徴をまとめよ う (1) 木材の特徴をまと めよう (2) 金属の特徴をまと めよう (3) プラスチックの特 徴をまとめよう (4) 主な材料の種類と 特徴 ③材料の加工方法を調べ よう	3 (1) (1) (1)	身の回りの製品に使われているい ろいろな材料について、その性質や 特徴を知る。	ノート プリント	○ ○			○ ○ ○ ○ ○ ○
5 6	3 設計	3 設計 ①設計のすすめ方を考え よう ②つくる製作品を決めよ う ③機能を考えよう ④構造をじょうぶにする くふうをしよう ⑤材料を選ぼう ⑥加工方法を考えよう ⑦接合と仕上げ方法を考 えよう ⑧構想したものを図で表 そう	9 (0.5) (0.5) (1) (1) (0.5) (0.5) (1) (4)	設計のすすめ方を理解して製作す るものの構想をまとめ、製作に必要 な図をかく。	ノート プリント 実技	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
7 9 1 0	4 部品 の加工	4 部品の加工 ①製作の準備をしよう ②けがきをしよう ③材料を切断しよう ④材料をけずろう ⑤材料に穴をあけよう ⑧部品の検査と修正をし よう	12 (2) (3) (3) (2) (1) (1)	工具や機械のしくみと、安全な使 い方を知り、材料に応じた部品の加 工をする。	プリント 実技	○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
1 1	5 組立 てと仕上 げ	5 組立てと仕上げ ①組立ての計画を立てよ う ②組み立てよう (1) くぎ接合 (2) 検査と修正 ③表面を仕上げよう (1) 木材の塗装 (2) 塗料の種類	4 (1) (2) (1)	組み立てるために必要な接合方法 を知り、順序を考えて材料にあった 接合をする。 塗装の目的や方法を知り、用途に あった塗装をする。	プリント 実技	○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○
1 2	6 工作 機械・電 気機器の	6 工作機械・電気機器 の保守と安全 ①工作機械の保守・点検	4 (1)	製作に使用する機器のしくみや保 守について学習し、機器を適切・安 全に使う。	ノート プリント	○		○	○

	保守と安全	方法としくみを調べよう							
1		②電気機器のしくみと保守・点検方法を調べよう	(1)			○		○	○
			(1)					○	○
2		③電気機器の安全な利用について調べよう	(1)						○
		④電気製品の修理をしよう							
3	7 これからの生活と技術	7 これからの生活と技術 学習のまとめ	1 (0.5)	技術と環境・エネルギー・資源との関係について知り、身の回りの課題が技術的に解決されていることについて考える。	ノート プリント	○			○
		学習をふり返ろう 生活に生かそう 学習した技術を活用してみよう	(0.5)	ものづくりを通して学習した技術をふり返り、これからの技術をどのように理解し、どのように活用したらよいか考える。			○		○
合計時数		35							

観点①生活や技術への関心・意欲・態度
 観点②生活を工夫して創造する能力
 観点③生活の技能
 観点④生活や技術についての知識・理解

第2学年 技術科の評価規準

- 生活や技術への関心・意欲・態度
 - 生活や産業の中で用いられている技術に関心をもち、技術が果たしている役割や環境・エネルギー・資源について考えようとしている。
 - 身の回りの生活を向上させるための製作品を構想することに関心をもち、製作するために必要なことを図で表示しようとしている。
 - 加工技術に関心をもち、目的や条件に応じて、工具や機器を適切に活用しようとしている。
 - 製作に使用する機器の仕組みに関心をもち、保守と事故防止に努めようとしている。
- 生活を工夫して創造する能力
 - 技術を適切に使う方法を工夫している。
 - 使用目的や使用条件に即した製作品を構想し、その設計について工夫し創造している。
 - 材料の特徴と加工の目的に応じて、工具の仕組みを生かした使い方を工夫している。
- 生活の技能
 - 目的とする製作品を設計することができる。
 - 製作の目的と製作品に用いる材料に適した加工を行うことができる。
 - 機器の保守と事故防止ができる。
- 生活や技術についての知識・理解
 - 技術と環境・エネルギー・資源との関係に関する知識を身につけ、技術のあり方について理解している。
 - 製作品の構想の表示方法に関する知識を身につけ、設計時に必要な材料の性質や性能及び構造について理解している。
 - 加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みについて工夫している。
 - 基本的な機器の構造と各部の動きに関する知識を身につけ、保守と事故防止の必要性について理解している。